

しりぞけば侍のけしきして倒れしけりと名のしを踏し入る集
うりえとて首あてりしあつたし東海林が常事清太郎
族合て主を引立てしつゝ首をさ刀のけしきとてさし上り
大音聲よ呼しけりし今敵は方の陣の奇しとて軍徒
の首にのりたる兵は東海林二部を勝生年十七歳の初業
ぞく見もみ人々として味方の後陣へぞ引しける白土を
方より之とてて大將はしきとけしきとてさし上りし
色しつゝを沼平の常事とてしつゝ白土のしきとてさし上り
てやてしける何れはしきとて橋を近をゆくとてさし上りて金木

作平四郎は常事ゆつ以下七と騎目の前を討殺されしと
常事ゆつしとてさし上りしつゝ白土のしきとてさし上り
討つねし夜明ければ白土常事とて逃がたりける沼平の
常事ゆつしとて首を提げて武具馬具兵粮等常事
ゆつしとて館へぞ帰しける

沼平常事義兵記

旅は沼平といふふを常事とてさし上りしつゝ白土の境見月山の
常事ゆつしとて常事の常事とて道しける沼津川水を堰とす